

和歌山徳島航路利用促進事業（社会実験）の結果報告について
期間中（8月末まで）の実績は前年比67.5%増でした

南海電気鉄道株式会社（社長：巨 信二 / 所在地：大阪市中央区）の子会社である南海フェリー株式会社（社長：兜 秀昭 / 所在地：和歌山市）では、和歌山県、徳島県の支援を受けて7月18日(土)から8月31日(月)まで、和歌山・徳島ナンバー、または和歌山・徳島県内で宿泊の乗用車を対象に、フェリー利用料金（運転者含む）を1,000円にする「和歌山徳島航路利用促進事業（社会実験）」を実施しました。

このたび、期間中の実績について、宿泊者数も含めた集計が完了いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、9月以降も平成22年1月3日(日)までの土・休日を対象に継続実施しています。

フェリー1,000円社会実験実施前後の輸送実績（乗用車の乗船台数）

期 間	対前年比
（実施前）	
平成21年4月	29.5%
5月	23.0%
6月	20.4%
7月（1日～17日）	27.3%
（実施後）	
7月（18日～31日）	48.9%
8月	73.3%
期間中合計	67.5%

平成21年3月下旬から高速道路での1,000円割引実施

期間中の乗用車乗船台数は39,558台でした。うち約86.7%（34,305台）が社会実験対象車両であり、

内訳は 和歌山ナンバー 15,916台
 徳島ナンバー 11,033台
 宿泊対象車 7,356台 となりました。

以上